



2025年7月16日

日本鉄道労働組合連合会

J R 九 州 労 組 「 第 3 4 回 定 期 大 会 」

働 く 仲 間 の た め の 労 働 組 合 と い う 不 変 の 役 割 を 果 た す

J R 九 州 労 組 は 7 月 9 日、福 岡 市 内 で 第 34 回 定 期 大 会 を 開 催 し、向 こ う 1 年 間 の 運 動 方 針 を 決 定 す る と と も に、運 動 を 牽 引 す る 新 執 行 部 を 選 出 し た。J R 連 合 か ら は 今 井 孝 治 事 務 局 長 と 住 吉 一 家 労 働 政 策 局 長 が 参 加 し た。

あいさつした吉田祥司中央執行委員長（J R 連 合 副 会 長）は、「安全の確立」「組織強化・活性化と拡大」「労働条件の維持・向上」「政策・政治活動」について所信を述べ、未来志向で課題に向き合い組合員と家族のための運動に邁進しようと呼びかけた。



吉田委員長

今井事務局長

J R 連 合 を 代 表 し て あ い さ つ し た 今 井 事 務 局 長 は、直 近 の J R 連 合 運 動 の 取 り 組 み や J R 労 働 界 の 情 勢 を 報 告 し た。

議事では、執行部が提起した運動方針案等に対して 20 名の代議員の発言により方針が補強された。執行部からの答弁の後、大久保浩書記長は、「健全な労使関係を基礎に、多様性を認め合い、誰もが生き生きと活躍できる環境を構築していかなければならない」と集約した。

役員改選では、青木幹雄・土橋千尋中央執行委員の 2 名が退任。再任された吉田中央執行委員長をはじめとする 14 名の新執行部が選出された。



新たに選出された新執行部

最後に、「組合員や家族の明るい未来を実現するため、積極果敢に取り組む」とした大会宣言案を採択し、吉田委員長の団結がんばろうで閉会した。